



2018.8  
No. 96

# きくよう

題字：菊陽中部小学校 6年 立石 智哉さん



菊陽町議会フェイスブック  
左記のQRコードを読み取る  
とアクセスできます。

## 主な内容

議案.....	P 2～3	政務活動費制度を検証.....	P 9
一般質問(5人) .....	P 4～6	マイタウン.....	P10
研修報告.....	P 7～8	輝く若いちから.....	P11

# 慎重に審議されました

## 6月定例会

平成30年 第2回定例会が6月6日から15日まで開かれた。

### 専決処分の承認事件

#### 承認第2号

菊陽町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定

全員賛成で承認

#### 承認第3号

菊陽町税条例の一部を改正する条例の制定

全員賛成で承認

#### 承認第4号

菊陽町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定

#### 《内容》

国民健康保険税について、H30年度から都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村へ保険給付に要する費用を全額交付し、市町村では都道府県が決定した国民健康保険事業費交付金を納付するため、

保険税を賦課・徴収することとなった改正。

#### 《反対討論》

小林 久美子  
国保税の基準課税額の上  
限金額が54万円から58万  
円に変更になるというこ  
とは増税になり賛成でき  
ない。

賛成多数で承認

#### 承認第5号

平成29年度菊陽町一般会計補正予算(第6号)

#### 《内容》

国・県等の補助金の額が確定したことによる補正  
《質疑》 小林 久美子  
①農業振興費担い手確  
保・経営強化支援事業  
と6次産業化ネットワ  
ーク活動整備事業補助  
金合わせて約1億5  
000万円であるが、  
減額しなければならな  
かった理由は、

②地方交付税はこれで確  
定なのか。

③町税の中に法人税が5、

560万円補正となっ  
ている理由は、業績が  
好調だったからなのか。

④繰越明許費の補正で、  
教育費の中の教育集金  
所の建設事業がかなり  
の増額になっている。  
その状況は。

《答弁》

①不採択または申請がさ  
れなかったため。担い  
手確保に関しては、翌  
年度に移っておらず、  
終了している。  
②確定額である。  
③予定納税分も含まれて  
おり、全て好調だった  
か、そう言えるかは確  
しい。

④設計業務において作業  
が手間取り、3月末に  
完了できなかったため。

全員賛成で承認

承認第6号  
平成29年度菊陽町介護保  
険特別会計補正予算(第  
3号)

《内容》  
国・県等の補助金の額が  
確定したことによる補正

全員賛成で承認

承認第7号  
損害賠償の額の決定

《内容》  
道路管理瑕疵による故障事  
故への損害賠償額の決定。

全員賛成で承認

議案第37号  
菊陽町放課後児童健全育  
成事業の設備及び運営に  
関する基準を定める条例  
の一部を改正する条例の  
制定について

《内容》  
放課後児童クラブの放課  
後児童支援員の資格要件  
についての改正。

全員賛成で可決

議案第38号  
菊陽町介護保険の一部を  
改正する条例の制定につ  
いて

《内容》  
介護保険法施行令の一部  
を改正する政令等が施行  
されることに伴い、菊陽  
町介護保険条例を改正。

全員賛成で可決

《内容》  
されたことに伴い、菊陽  
町地域包括支援センター  
の職員等に関する基準を  
定める条例の一部を改正。

全員賛成で承認

議案第39号  
菊陽町地域包括支援セン  
ターの職員等に関する基準  
を定める条例の一部を改正  
する条例の制定について

《内容》  
介護保険法施行規則の一  
部を改正する政令が施行

されたことに伴い、菊陽  
町地域包括支援センター  
の職員等に関する基準を  
定める条例の一部を改正。

全員賛成で可決

議案第40号  
菊陽町営住宅条例の一部  
を改正する条例の制定に  
ついて

《内容》  
古閑原町地建て替えに伴  
う戸数等の変更。

全員賛成で可決

議案第41号  
菊陽町自転車等駐輪場条  
例の一部を改正する条例  
の制定について

《内容》  
H29年12月に原水駅周辺  
整備工事が完了したこと  
に伴い、自転車駐輪場が  
拡大したことによる条例  
の改正。

全員賛成で可決

議案第42号  
平成30年度菊陽町一般会  
計補正予算(第1)について

《内容》  
成人搬出予算にそれぞれ  
4,233万1千円を追加。  
支出の主なものとし  
て、一時避難所施設等整  
備費補助金を一地区分2  
万9千円、コミュニティ

助成事業補助金を一地区  
分250万円、地域特産  
物産地支援対策事業補助  
金を1経営体分240万  
円、経営体育成支援事業  
補助金を2経営体分36  
万8千円、原水地区用  
排水路調査設計に263  
万6千円等。

《質疑》 小林 久美子  
武蔵ヶ丘中学校の学校給  
食費580万円の補正は  
当初予算で予測できな  
かったのか。

《答弁》  
給食用の食器洗浄機に老  
朽化による不具合が生じ  
たため。

《質疑》 那須 眞理子  
放牧活用型草席等再生事  
業補助金とは具体的に説  
明を。また、この補助金  
は例などにも利用できる  
のか。

《答弁》  
放牧組合の放牧の事業費  
として、県からの補助金  
が決定したための増額。  
用途は、放牧する際の病  
害予防等。

《質疑》 中岡 敏博  
一時避難場所施設整備費  
とは具体的にどのような  
施設になるのか。

《答弁》  
ユニットハウスやプレハ  
ブハウス等、簡易なも

の。備蓄倉庫も対象としている。

《質疑》 西本 友春  
地域特産物産地づくり支援対策とは具体的に何か。

《答弁》  
お茶の生産者の管理機械に対する二分の一の補助。

全員賛成で可決

議案第43号

平成30年度菊陽町介護保険特別会計補正予算（第1号）について

《内容》

歳入歳出の総額をそれぞれ271万7千円増減し、総額を23億1,366万6千円とする。

全員賛成で可決

議案第44号

町道路線の認定について

《内容》

民間住宅開発で築造された町に帰属された道路の町道認定。

賛成多数で可決

報告第1号

平成29年度一般会計予算繰越明許費について

《内容》

全体で21億7,238万8千円。主なものとして、(仮称)光の森多目的広場整備事業費1億7,

673万4千円、総合交流ターミナル「さんふれあ」の施設改修工事2億7,973万6千円、菊陽小学校施設整備事業1億1,067万1千円、馬場・入道水の教育集会所建設事業9,561万2千円、被災農業者向け経営体育成支援事業9,039万5千円、町民体育館災害復旧事業9,565万円。

《質疑》 小林 久美子  
例年になく項目が多いがなぜか。

《答弁》  
熊本地震の影響により施設業者が見つからないという事情があった。

報告第2号

平成29年度菊陽町一般会計予算事故繰越し繰越計算書について

《内容》

平成29年度菊陽町下水道事業会計予算繰越計算書について

報告第3号

平成29年度菊陽町下水道事業会計予算繰越計算書について

《内容》

諮問第1号  
人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて

報告第11号

同意第11号  
菊陽町監査委員の選任につき議会の同意を求めることについて

諮問第1号

人権擁護委員候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて

再任 堀川 妙子 氏  
新任 松本 東亜 氏  
全員同意なく選任と決定

《内容》

発議第1号  
旧慢生保護法による不好手術の被害者救済を求める意見書(案)について

提案者 西本 友春

全員賛成で可決

追加議案

議案第45号  
菊陽町税条例の一部を改正する条例の制定について

《内容》

中小事業者が生産性向上特別措置法に規定された認定先端設備導入計画に従って取得した機械装置等の固定資産税(資産償却)の会費標準に基ずる割合を、市町村の条例で定める割合をゼロとするもの。

全員賛成で可決

議案第46号

平成30年度菊陽町一般会計補正予算(第2号)

《内容》

(仮称)菊陽町防災センター1基不設計の委託料507万3千円を、むす1,000万円を追加する。

全員賛成で可決

議案第47号

工事請負契約の締結について

《内容》

菊陽北小学校の第2期大規模改造工事(建築)について、15社による指名競争入札の結果、(株)太照工業が1億6,632万円で落札。同社と工事契約を締結。

全員賛成で可決

青本孝寿議員の原職に伴う後任人事等を報告、異議なく承認された。

大津菊陽水道企業団  
議会議員 上田 茂政  
総務常任委員会  
委員長 阪本 俊浩  
副委員長 大久保 輝

第1回臨時会

平成30年 第2回 菊陽町議会定例会

付議事件 ■ 賛否表 ○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号等	結果	表決数		大久保	阪本	西本	那須	佐々木	中岡	吉本	吉山	北山	石原	岩下	大塚	川俣	上田	小林	甲斐	
		賛成	反対																	
承認第4号	承認	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	可決	14	1	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	適任	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第2号	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
付議事件(追加)																				
議案第45号	可決	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第11号	同意	15	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・不採択・承認・認定 ※報告は採決がないため削除



小林 久美子 議員

## 熊本地震被災者の

### 医療費免除の復活を

**答** 免除措置の復活については、他の市町村との協議が必要

**小林** 熊本地震後、まだ多くの方が生活再建の見通しが立たず、その中で病氣も抱えておられる。

しかし、昨年9月末に県の医療費の窓口負担などの免除措置が終了した。多くの方が安心して病院にかかれるように、免除措置の復活を県に働きかけてもらいたい。この間の利用状況はどうなっているのか。

6件で4,615万円となっている。

### 県内の受診回数2万件減

**小林** 昨年9月の医療費免除の打ち切り後、県内で受診回数は2万件減少している。東北では、震災から7年たっているが、今でも医療支援がおこなわれている。

**小林** 昨年9月の医療費免除の打ち切り後、県内で受診回数は2万件減少している。東北では、震災から7年たっているが、今でも医療支援がおこなわれている。

もっと積極的に登用できないか。菊池市では、課長級が9名で、合志市では部長職が2名である。

町でも、女性職員の採用を多くし、その後の研修、育成についても力を入れる必要があるのではないかと。女性が意思決定の場に参画できる体制をとってもらいたい。

### 国保の減免制度の利用を

**健康・保険課長** この間、震災直後の病氣やけがなどに對する経済的負担軽減を目的に、全壊・半壊の被災者等に対して、取入にかかわらず一律に医療費窓口負担金の免除を実施した。その利用状況については、1128年度が7815件で6,143万円、129年度は755

**健康・保険課長** 町としては、国民健康保険の一部負担金の減免制度について、住民への周知徹底を図っていきたい。免除措置の復活を県に働きかけることについては、他の市町村とも協議する必要があると考えている。

**健康・保険課長** 町としては、国民健康保険の一部負担金の減免制度について、住民への周知徹底を図っていきたい。免除措置の復活を県に働きかけることについては、他の市町村とも協議する必要があると考えている。

### 管理職に女性職員の登用促進を

**小林** 町は、124年に男

**管理職に女性職員の登用促進を**

女共同参画都市宣言を出している。しかし、町の管理職への女性の登用が少ないのではないかと。もっと積極的に登用できないか。菊池市では、課長級が9名で、合志市では部長職が2名である。

### 現在女性の管理職は

29名中1名

**総務課長** 課長級以上の管理職の女性職員は、29名中1名である。現在、管理職相当の経験年数がある女性職員が非常に少ない状況である。



大塚 昇 議員

## 南小校区の定住促進補助事業は

### 今後も継続していくのか

**答** 期間を延長して引き続き南小の児童数確保のため取り組んでいく

**鼻ぐり井手公園と地元産業をどう結びつけ、目的である活性化につなぐか**

**大塚** 青空市場等で農産物や加工品の販売はできるか。

**都市計画課長** 公園という性格上、産業・農業の振興と直接的に、効果的に結びつけることには多くの課題がある。今後、地域との協議の中で提案を受けながら方策を検討していく。

### 鼻ぐり井手の効用、役目を示す上で中須山の散策が最適であるか

**大塚** 白川への放出口、川底の勾配差で分水し大雨時の井手を守るといった400年前の農業土木の成果を中須山から見ることができると。ぜひ整備して取り止めないか。

**大塚** 南小校区活性化協議会からの要望書の案が菊陽町の真の発展につながると思うが。

**町長** 南小校区の振興が町のこれまでの発展を継続していくためには大変重要と考えている。企業誘致の推進、公園整備や定住促進補助事業では対象者を拡大し、さらに充実していく。県道潮田熊本線バイパス整備は条件整備と計画策定に取り組み、後期基本計画に藤崎台球場誘致とあわせて考えていく。

### 土地改良事業

**大塚** 大切畑ダム復旧の進捗状況と白水台地の敷設幹線取替の見直しは、

**農政課長** 大切畑ダム内に所属が確認されダム軸を異動する案が提言された。地質、測量、用地買収等の調査がおこなわれており、5年後の完成をめざしているとのこと。幹線管等の取り替えについては昨年だけでも、8件の漏水が確認されており、早急な改修が待たれている。今後、白水地区農地集積協議会への事業説明や意見交換をおこない、その後県営事業への仮同意の取得作業に入りたい。

### 消防団の充実

**大塚** 団員の確保、特に災害時の出勤回数を増やす施策が必要であるが、

**総務課長** 消防団を中核とした地域防災力の充実強化の法律とあわせて取り組む。

### 生遊学習課長

散策については、鼻ぐり井手祭に限りボランティアガイド

を伴ってのみであるが、今後、県との文化財指定を進めるなか、どのようなことが可能か取り上げていく。

を伴ってのみであるが、今後、県との文化財指定を進めるなか、どのようなことが可能か取り上げていく。



西本 友春 議員

## 学校給食費の全額補助を町はどのように考えているのか

**答** 現在は考えていないが、引き続き近隣市町村や全国の動向については注視する

### ピロリ菌検査

**西本** 県内においては水戸市・長洲町・天草市・宇城市がピロリ菌検査への助成をしているが、町はどのように考えているのか。

**健康・保険課長** 菊池郡市保険協議会理事人会議で、本町から議題として提案し、その中で協議していききたい。

### 学校給食の補助

**西本** 学校給食を無料にする自治体はとりもぐら年度までに全国の旧市町村に広がっている。全額補助を提案するが、町はどのように考えているのか。

**学務課長** 給食の直接的な材料費については、保護者の負担と定められており、現在は考えていない。近隣市町村や全国の動向については注視していく。

**西本** 年収400万円以下、もしくは多子世帯の第二子から給食費免除を提案するが、町はどのように考えているのか。

**学務課長** 多子世帯の第二子からの給食費免除については、就学援助制度では、第三子になると認定基準の年収が400万円前後になるので、当分は就学援助制度での対応を続けたいと考えている。

### 自治体クラウド

**西本** 自治体クラウド化に向けては参加団体の構成・クラウド化業務範囲、カスタマイズの抑制のための取組方法・導入のスケジュールなど取り組みはどのようになっているのか。

**総合政策課長** 今年度から、県と全市町村で組織する熊本県市町村電子自治体共同運営協議会において、専門部会を設置することとなっている。基

礎知識を受け先進事例を検証しながら取り組む予定である。本町も県及び県内市町村と情報を共有しながら取り組むことにしている。

### 地域おこし協力隊

**西本** 特別交付税措置される地域おこし協力隊について、どのような検討をおこなったのか。

**総合政策課長** 地域活性化のための隊員として活躍していただくことを検討しているが募集するまでには至っていない。

**西本** 菊陽町にも必要と考えるが。

**総合政策課長** 隊員を募集するに当たっては、空き家対策や地域づくりなどの業務を担っていただくことが考えられるが、その業務内容を精査し、制度の活用に向けて取り組んでいく。

礎知識を受け先進事例を検証しながら取り組む予定である。本町も県及び県内市町村と情報を共有しながら取り組むことにしている。



阪本 俊浩 議員

## 白水台地の送水管改修は

**答** 国、県、町の負担で対応する

### 復興まちづくり計画

**阪本** 今後どのような過程を経て「仮称」防災センター建設に向け準備を進めていくのか。

**総務課長** 今年度から基本設計をおこない、132年度には建設工事にとりかかる計画である。

### 阪本

多目的防災センターと銘打って計画を進めていくべきではないか。

**総務課長** 業務の増加や正職員、臨時職員の増加の増大により、庁舎の業務スペースのこれ以上の拡張は難しい状況である。多目的に使えるスペースが確保できれば、非常に有効である。庁舎全体の配置を考え検討していく。

**阪本** 町民体育館復旧工事の状況は。

**生涯学習課長** 8月末までに復旧工事を完了させ、9月以降には使用できるよう進めている。

**阪本** 中央公民館は、合築による建て替えを検討しているのか。

**総務課長** 中央公民館と町民体育館を合わせた形で整備することが、コストや敷地の面からも有利だと考えている。

**阪本** 今年度の当初予算に商業診断費用1,130万8,000円が計上されているが、全ての地区公民館の創設診断をこの金額でまかなえるのか。また、各地区の負担はなののか。

**総務課長** 費用は町で全額負担し、自治会の負担はない。不足する場合は補正予算で対応する。

**阪本** 後継者の確保はどのように考えているのか。

**農政課長** 農業振興の中でも後継者の確保、育成は最重要課題であると考

### 農業政策

**阪本** 町政における農家の位置づけは。

**町長** 農畜産物の生産など経済活動にとどまらず、私たちに多くの恵みをもたらしている。今後、農家などの経営体をつかりと支援していく。

**阪本** 後継者の確保はどのように考えているのか。

**農政課長** 農業振興の中でも後継者の確保、育成は最重要課題であると考

**阪本** 白水台地の送水管改修は至急を要する問題である。農家の負担金もゼロにしていたらきたい。どう考えているのか。

**町長** 白水台地は菊陽町の農業を支えている。事業については、国、県、町の負担で対応していきたいと考えている。

**阪本** 白水台地の送水管改修は至急を要する問題である。農家の負担金もゼロにしていたらきたい。どう考えているのか。

**町長** 白水台地は菊陽町の農業を支えている。事業については、国、県、町の負担で対応していきたいと考えている。

**阪本** 後継者の確保はどのように考えているのか。

**農政課長** 農業振興の中でも後継者の確保、育成は最重要課題であると考



甲斐 榮治 議員

### 町の顔をつくり、 より一層の賑わいを

**答** 元気のある町との評価を受けている

#### 財源は確保されたか

**甲斐** 防災広場整備の財源は確保できたか。

**町長・総合政策課長** 国庫補助5億8,600万円については確定。後の5億8,600万円の地方債については、当該年度の元利償還金の8割が基準財政需要額に算入されること確定した。

**甲斐** 防災広場整備の予算は確定したが、事業の中身は決定していないという不規則な事態になっている。施設・設備を具体的に示せ。

**総合政策課長** 平常時には地域の行事ができ、災害時には防災機能を發揮できる複眼的整備と運用を考えている。物資の受け入れや荷さばきできるスペース、避難所・多目的トイレ・シャワー室・自家発電設備をそなえた

備蓄倉庫・耐震性貯水槽・生活用水用井戸・仮設風呂スペースを設置する。

**町長** 自治法に定められた必要なものについては議会とも相談し、説明もする。

#### 保育所職員の雇用継続

**甲斐** 100人超の保育職員（非正規）を移管予定の民間保育所に雇用してもらおう作業は進んでいるか。

**保育所職員支援課長** 総務課に保育所職員支援コーディネーターを雇用し、移管先事業者との協議を進めている。6月に対象者の意向調査と個別面談を実施する。

#### 菊陽空港線延伸進む

**甲斐** 町東部の発展等に大きな意味を持つ、菊陽空港線の延伸事業の進捗状況はどうか。

**町長** さんふれあ、土地区画整理地への商業施設の進出、光の森地区の賑わい等、安全安心で元気な顔の町が形成されつつあると考えている。

## 文教厚生常任委員会報告

### 公立保育所民営化の進捗状況

引き受け法人が決定したこと、運営の引き継ぎに向けて取り組みが進められている。各法人との間で移管申請内容の履行のため、6月にも覚書を交わす予定である。

今後に向けて、「三者協議会（保護者・法人・町）を設けるため、各園には保護者の代表の選出を依頼している。代表者が決定したら、移管後の保育園の運営に関することや合同保育等の協議を進め、民営化後は待機児童の解消を図っていく。

**問** 合同保育の予定は、早期に開始する予定にしている。この際、県の認可手続きとは関係なく進む。

**問** 現在の臨時保育士の処遇はどうなるのか。

**答** 改めて意向を聞き取り、再就職へあたる。 **問** 武蔵ヶ丘第一園の今後は。

**答** 国からの補助等の関係から、運営を法人に移管した後、法人により解体・建設を進める。旧武蔵ヶ丘支所の解体は町がおこなう。

**問** 法人による運営の開始時期はいつなのか。

**答** 三者協議会で話し合いの上、決定するが、現時点で時期は明らかでない。

**問** 選考委員会時の議事録の開示はするのか。

**答** 現在選考委員会に内容を確認しており、終わり次第例規に沿って開示する。

**給食の食材は** **答** 町の「学校保育給食委員会」で、検討を行っており、国の「大量調理施設衛生マニュアル」に基づき、調理にあたっている。

「ゆーかり」は、既設のコアラとほぼ同様の利用があり、順調に推移している。

### 学童クラブ菊陽の運営状況は

**答** 今年度からNPO法人に移行したが、運営面は以前と同じ。

**問** 経費負担の状況は、軽微なものは法人が負担し、施設など大規模なものは町が負担する。

**問** 不審者等の情報の取り扱いはどうしているか。

**答** 子育て支援課の方から法人事務局へ通知している。

今回は付託事項ではなかったが、担当課からの説明の後、委員による質疑の主なものを報告とする。



菊陽児童保育所

# 文教厚生常任委員会

5月23、24日の2日間、長崎県の佐々町、佐世保市の長崎国際大学を研修した。

## 佐々町の介護保険の包括支援制度

佐々町は介護保険の認定率・給付費も増加してきた(図1を参照)ことから、改めて「介護保険法」の趣旨を再確認した。

同法第4条は、国民にも介護状態に至ったとしても、その状況から原する努力が必要なことを定めており、第5条は、国民が日常生活を営まれるよ

う、地方公共団体(町)にも予防の支援をおこなうことが定められている。以上から、介護保険を

「権利」として給付するやり方から、「本人が生活する上で困っている事態の解決」に方針を変更した。

介護認定申請の窓口はあくまで介護相談窓口であるをキーワードに、「生活上、本人が困っていることの解決」を挙げ、「御用聞きプラン」から「自立できる生活」の可能性を向上し、保険料の値下げとつながって掘れた。

(図2を参照)

## 介護予防事業の取組

予防には運動などにつながる教室や塾、クラブなどを設置して、会話を集める集いや生きがいづくりにも取り組んできた。その中にはより元気な方に、ボランティアとして参加してもらっている。

高齢者は地区で暮らし、地域での活動を主体として取り組むことにした。その際に心がけたことは住民主体のおおらかな発想で、生活スタイルを見つめ直し、ボランティアの援助を得る等で、ボランティアには、謝金を支払っている。

### ○委員長所感

介護方針の変更の際、制度の周知やボランティアの確保など、同制度が実現するまでには多くの壁を乗り越えてきたものと思われる。しかし、制度を変更したときから徐々に効果は出てきて、今では大きなものとなっている。(図2を参照)

佐々町の2倍以上にも存在しており、本町の職員は絶対的に少ない。また、地域の活動に関しては職員が強く、地区に足を運び、説明を尽くすなど、町行政全体の「方針」として、取り組んで達成できたものである。

介護予防の結果、介護状態が家族や他の人の世話になって給付を受けるよりも、元気で好きなことに取り組み、自立した生活を送れる方がいいことは論を待たない。

本町では、133年度からの介護保険料は値上げが見込まれており、早急に取り組むべきだろう。

### 子ども食堂の取組

ひとり親で子育てしている世帯が多くあり、子育ての悩みや課題を抱えている家庭を支えたいという思いからスタートした。

当初「貧困の家庭の子」というイメージの市もあつたが、「ながさき子ども食堂ネットワーク」を5市の間で結成した結果、

金融機関等からの助成や食料も「フードバンク」や「Aからはお米の提供を受けけている。

若いママたちは、ボランティアであるプロの料理人を見て、「こんな風に料理できるんだ」と、コミュニケーションに繋がっている。

対象者は「親子」で、参加者は特に貧困であるかどうかかわらず、来た人はすべて受け入れるが、去る人はその理由を詮索しないということにして

### ○委員長所感

子どもに食事を提供するのを「接着剤」として、「ひとり親」多くはママの「精神的」よりどころ・友達づくり」に繋がる交流の場を提供することを第一の目的としている。これは、子育て世代の悩みは直接日々の子育てに結びつくという思いから出てきたもので、孤独になりがちな「ひとり子育てママ」が、日々の悩みや愚痴を言い合いな

がら、食事のまかないの中のおしゃべりを通じて、悩みを解消することに重点が置かれて運営されている。

本町では、新たに移動してきた子育て世代等の中に、親族もなく孤立して、子育て中の若いパパやママもいると思われる。子ども食堂を集いとして憩いの場が生まれれば、民間の立場での子育て支援につながる可能性がある。

思いも志も高かったからと思うが、都市を結んだネットワークも整備され、思いの外大変スムーズに進んできたように見受けられた。主催者の使命感は高いように感じしており、本町での展開の際には参考にしたい。

等々の多くの気づきを得た今回の研修であったことを加えて、委員会の報告とする。

※「フードバンク」品質に問題がないにもかかわらず流通できなくなった食品を、企業から寄附を受け生活困窮者などに配給する活動をおこなう団体。

図1 佐々町 給付実績と65歳以上の高齢高齢者の推移

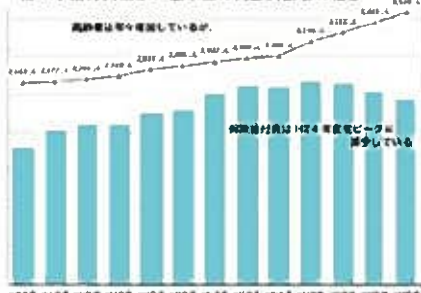
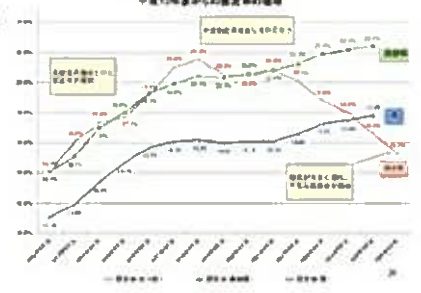


図2





# 広報委員会研修だより (7月24日～25日)

唐津くんちや唐津焼などの長い歴史を感じる佐賀県唐津市と、同県の東の玄関口として古くから交通の要衝として発展した基山町へ行って来ました。



## 本町からの 主な質問内容

- ①特集や多くの町民に読んでもらうための工夫はどのようにしていますか
- ②編集方針はありますか
- ③速報性についてはどのように工夫していますか
- ④特徴としてどういうことがありますか

## 唐津市



- ① 住民が知りたいものを第一に考えるようにしている。
- ② 記事の選択・内容は、すべて議会報編集委員会に一任する。また一般質問や議案質疑には、写真やイラストを載せ、読みやすいように心がけている。
- ③ 定例会の翌々月の一日には、発行できるように委員会を開催している。
- ④
  - ・編集体制が会派からの委員で成り立っている。
  - ・4常任委員会の報告などは、事務局が原稿を提出する。
  - ・一般質問の内容は各自が動画を見て記事にする。
  - ・広報委員以外の議員から、月額500円を徴収して活動費にしている。



## 基山町



- ① 一般質問のページを3段書きから2段書きにし、文字数を制限して読みやすくしている。
- ② 町民に議会の様子が分かるようにしている。
- ③ 定例会開催の翌月末までに発行できるように、事務局がスケジュールをたて、印刷会社とも調整している。
- ④
  - ・委員会には各常任委員会の副委員長が入る。
  - ・一般質問の内容は、議事録を待たずに録音にて各自が起稿する。
  - ・読んでもらうより、見てもらうことを重視している。



## 菊陽町では



- ①
  - ・町の人物や行事を議会の目で取りあげて、特集を組んでいる。
  - ・記事だけではなくイラストや写真を多く載せ、すっきりと読みやすくしている。
- ② ひとりでも多くの町民に読んでもらえるように、広報委員全員で知恵を出し合う。
- ③
  - ・定例会の翌々月の下旬に発行している。
  - ・一般質問の内容は議事録を待って提出しているため、発行時期が遅れると思われる。今後の課題であり、今回の研修の一番の問題点である。
- ④ 広報委員各自の特色を出せるように、担当ページを変え、マンネリ化を防いでいる。





# 政務活動費を検証する

本町での政務活動費の使用は目立って少ない。6月14日付けの熊本日日新聞でもかなり大きなスペースでこのことを報じていた。全国的には、その不適切な使用の例もあり、制度の改廃も議論されているが、制度運用3年目を迎えて、本町議会でも様々な議論が交わされている。結論に至ってはいないが、現時点での議論を紹介し、町民のみなさんの評価の材料としたい。

## 政務活動費とは

2000年、報酬とは別に、議員の調査研究費として、政務調査費が制度化された。

2001年、自治体に制度の導入が始められた。(導入するか否かは自治体の裁量)

2012年、調査研究以外の諸活動にも使えるように用途が拡げられ、政務活動費と名称も変更された。但し用途が明確になるように、領収書の添付が義務づけられた。

2014年、兵庫県議会などで、政務活動費の不適切な使用がきらかとなり、その使途監視システムの構築や制度の廃止も含めた運用の見直しなどが問題となっている。

## 菊陽町の現状

不適切な使途なし。使用した議員は、収支を適切に報告し、研修内容も議長あてに提出している。使用した議員や使用額が他自治体に比べて目立って少ない。(下表参照)

## 議員にアンケート

「制度導入後3年経ったので、改廃を含めて、その現状を検証するべきだ」との声が議会内部からあった。議会運営委員会が検討した結果、議員全員からアンケートをとることとなった。

その結果、「見直しを含めて制度を継続した方がよい」が9人、「制度を廃止した方がよい」が8人と、賛否が拮抗した。

本件については、議会運営委員会や全員協議会で今後も議論される。現

時点での主な意見は下記の通り。

### 継続すべき

- ・議員が政策研究にとりくみ、政策提言に資することや専門知識を学ぶことは大切。
- ・当時「物見遊山」的部分のあった委員会研修費を削った。町財政を急激に膨らませないための処置であった。
- ・この制度により、研修目的の選択が自由意志によつて可能となった。成果は、一般質問などに活かされた。
- ・頭からの反対論はまわが。条例制定迄には1年間の議論を経ている。改善のための点検は必要だが、安易な廃止はすべきでない。
- ・目的から報告そして結果へつながるよう、「議員個々が努力すること」

### 廃止すべき

が政務活動費制度の本質である。

- ・報酬は、議員活動への対価であり、政務活動費とからめて議論する前に、議員個人が自分の活動量を点検して言うべき問題である。
- ・使途の是非を判断するのは有権者である。議会内でそれをすべきではない。
- ・使途の限定がきびしすぎて、使いづらい。だから執行率が低い。
- ・制度導入時に委員会研修費を削ったのは誤りである。
- ・制度に不備が多い。人によつて評価が分かれるのは確立した制度と言えない。
- ・全体的に不適切な使途に対して厳しい白か向けられて、廃止する自治体も出ている。
- ・当初から制度に反対。個人を替く研修費は報酬の中から出せばよい。
- ・議員になり手がなくて困っている自治体がある。
- ・報酬を上げれば世代や男女の違いを問わず人材が集まる。政務活動費を廃止して、その財源を報酬アップの一部に活用すればよいと思う。

過去3年間の菊陽町議会政務活動費使用実績

(単位 円)

項目 年度	申請者	使用者	交付額	支出額					使用率 %
				研修開催費	調査研究費	資料等の費用	広報費	合計	
27	18	11	3,600,000	2,000	1,019,372	79,751	1,480	1,102,603	30.63
28	17	6	4,080,000		543,941	117,132		661,073	16.20
29	16	8	3,600,000		576,034	84,687		660,721	18.35

# マイタウン



あいさつ運動

## 社会を明るくする運動 ～青少年のつどい～

7月7日（土）菊陽町図書館ホールにて

更生保護女性会の活動について発表がありました。

更生保護女性会の皆さんは、犯罪や非行からの立ち直り支援を目的に青少年健全育成や再犯防止・子育て支援・交通安全声かけ運動・高齢者施設との交流など、更生活動に誇りを持って活動されています。



食育、親子ふれあい活動

## 地域の交流・催し 夏祭り フォトギャラリー

菊陽町では、地域住民主催による夏祭りがあります。都市化が進む地域もあり、近隣住民同士のふれあいや顔合わせも少しずつ希薄になることも想定されます。そのなか手作りであり、みんなで協力しあう共同作業なども大切だと思います。



境の松区



北新山区



青菜台区



三里木北区



沖野区



新山区

# 輝く若いちから



菊陽町を支える若者たち



エボレ・ジャパンを経営



まつおか しょうた  
松岡 翔太さん  
28歳（津留区）

ビーチサッカー日本代表

私は、芝生でも体育館でもない、砂浜の上でサッカーをするビーチサッカーという競技をしています。

小さい頃からサッカー漬けで菊陽中学校から大津高校へ進学し、シンガポールでプロリーグを経験した後、ビーチサッカーというスポーツに出会い転向しました。

サッカーからビーチサッカーに転向して7年。山口県、東京都、そして地元である熊本県と3つのチームを渡り歩き、2度の日本一を経験しました。

2018年からはラモス瑠偉監督率いるビーチサッカー日本代表に選出され、国内での親善試合や国際大会を経験。

目標は来年開催されるビーチサッカーワールドカップに出場し、そこで世界ベスト4以上の成績を残すことです。

ビーチサッカーに転向すると同時に立ち上げた事業も今年で7年目になり、法人化して4期目になりました。

スポーツウェアブランド「EVOLE（エボレ）」というオリジナルブランドのインターネット販売による全国展開、珈琲豆のインターネット販売や移動販売を手がけています。こちらも日本を代表する企業に進化させるために日々精進しております。

競技でも会社でもまだ何も成し遂げていない未熟者ですが、地域の先輩方や家族に支えてもらいながらいつか菊陽町に誇ってもらえる人間になれるようがんばります。



田植え真っ最中です



たけなか けん と  
竹中 研人さん  
20歳（出分区）

株式会社きくようアグリで  
がんばっています!!

私は、昨年4月から菊陽町で農作業受託をおこなっている(株)きくようアグリで働いています。今年に入社2年目ということもあり、少しずつ仕事にも慣れてきましたが、まだまだ農務のことについて分からないことだらけです。

天候に左右される農業ですが、請け負った仕事は限られた時間内に完成しなければなりませんのでプレッシャーを感じていますが、農家の皆さんから「ありがとう。助かりました」など、感謝の言葉を掛けていただくと大変うれしく、やりがいを感じます。

トラクターや田植機、コンバインの操作など、まだまだ習得していかなければならないことがたくさんありますが、農家の皆さんから信頼されるような一人前のオペレーターになれるようがんばっていきたいと思います。

## 株式会社きくようアグリ 専務 日高 裕成氏からのコメント

(株)きくようアグリは農家からの依頼で、主に米・麦・大豆の植えつけから収穫までの作業を請け負っています。

農業者の高齢化に伴い、農作業委託の要望は年々増加傾向にあり、これからの時代、農業の労働不足が懸念されています。

そんな中、竹中君のような若い世代がこれからの菊陽町の農業を支え、地域に貢献できるような人材に育ってほしいと思います。



## ありがとうございました

### 災害時緊急対応をされた皆様 特集 8

今回は「おおきく土地改良区」の畠田さん、上田さんに話をお聞きしました。

地震時、大変だったことなどをお話し下さい。



私たちの仕事は、一級河川白川から農業用水を取水、管理する業務です。

他に深迫ダムの管理業務などがあります。

2年前の熊本地震時は上井手、下井手水路が基大な被害を受けました。

特に大津町側の被害が大きく、下流の菊陽町に通水できず、農家の方々からの不安な声、苦情も多く、大変申し訳ないと思っていました。その年は、ほとんどの水田が大豆に転作する事態になりました。

断層が入った大切通ダムは、いまだ復旧途中ですが、冬の間に水を深迫ダムに貯めて、5月からの利用に備えています。

地震直後は、職員は夜も眠らず、調査、点検、対応に追われていました。

復旧は終わりましたか。

2年のはかりましたが、全ての工事は終了しました。

しかしいまだに、雨が降る度に、上流からの土砂が水路や水田に溜まる状況が続いています。農業に悪影響を与えないよう問題の解決が急がれます。



また、白水台地の送水管の破損、老朽化が今後の課題です。

9月議会の開会日は、9月4日(火)の予定です。

くわしい日程については、議会事務局 096-232-4919に お問い合わせ下さい。

発行責任者 議長 渡辺 裕之

編集者 役員 副委員長 中岡 敏博

役員 佐々木理美子

役員 那須真理子

役員 阪本 俊浩

役員 大久保 輝

この誌発だよりは再生紙を使っています。

議会だより取材のため、撮影を許可した議会議員が写真撮影に同意することがありますので、ご理解と協力をお願いします。

議会からのお願い

**みんなの議会 傍聴は、お気軽に**

問題発生時に心に留め、よりよい答えを求めて断絶の工夫を忘れないことでしょうか。広報委員一同さらにかんばります。

## 傍聴者の声



平成30年 第2回定例会(6月)傍聴者のべ34人

町執行部からの提案についての質疑がおこなわれているが、逆に議員が内容精査の上、よりよき提案をされるよう期待する。遠慮することなく改善意見を町政に活かしてほしい。



緑陽台 67歳 男性

町政の発信を今後も積極的に実施してほしい。議会開催後に行政がどのように変わった(決定、改善等)、今後の取組み、反映されるのかを議会だよりに掲載してほしい。

大津町 22歳 男性



町長の行政報告、専決処分に関して傍聴者に文書の提供はできないのか。

光の森7町内 20歳 男性



## 表紙の紹介



町主催でおこなっている子育て支援事業活動のようす。(光の森キャロット保育園)

## 編集後記

甲斐 泰治

「どうすれば町民のみなさんに議会だよりを読んでもらえるか」「どうすれば読めやすい紙面になるか」「どうすればできるだけ速やかに各家庭に届けられるか」

広報委員会が悩んでいた問題は、おおよそこれらに尽きると思います。決まった答えはありませんが、お堅いお役所的な表現や情報は避けて、多彩で親しみのあるやさしい紙面に仕上げるのが広報委員一同の共通した心算になっているようです。

ただ、速報性については問題を解決できずにはいけません。発行や配布を速めるには、開会中からの取り組みが必要です。しかし、議員のもっとも大切な務めは議案の審議に集中することです。広報の編集のためにそちらが回るをかながって本末転倒です。よい解決法がなかなか見つからずにはいます。

しかし、ともあれ、大事なことはこれらの問題を常に心に留め、よりよい答えを求めて断絶の工夫を忘れないことでしょうか。広報委員一同さらにかんばります。